

県本部・活動拠点本部会議(8月10日・夕)議事要旨

■決まったこと、全体への連絡事項

- 支援者の熱中症 40 名超え。体調に気を付けて活動してほしい。関連して、保健師チームが作成した熱中症リスク等を可視化するアプリ「ヒートガード」も有効活用してもらいたい。
<https://dohcuoeh.com/heatguardapp/>
- 避難所の障害者(手帳有無不問)の情報連携について、基幹相談支援センター「アクロス」等との協力体制が決定。アクロスでは避難所巡回の余裕がないため、DWAT が巡回で収集した要配慮者の情報を繋いでいただきたい。古田先生の電話番号を各拠点の代表者へ伝達いただきたい。

■各拠点からの報告 ※特記事項

● 八代地域

- [鏡コミュニティセンター] 高齢者多い。ジャパンハートの医療支援。明日から常駐対応になる。JRAT が入り体操等の運動を実施。
- [八代健康センター]明日から福岡 DWAT が現在福祉避難所に常駐しているチームを2分化し、アセスメントにあたる。
- [日奈久コミュニティセンター]明日訪問予定。
- [保健福祉医療調整本部]武田先生ー避難者が避難所から地域のフェーズに移っている。避難者が地域に戻ることでニーズが埋もれる可能性があることについて提言。

● 宇城地域

- [ウイングまつばせ / まつばせ東 / 小川防災] 個別対応で様子見。

● 氷川地域

- 桜が丘別荘の 21 名利用者を[宮原福祉センター]へ移送。職員 5 名も一緒に避難。夜日勤困難、火～木の職員補填が必要。
- 全盲の利用者への支援急務。受け入れ施設が見つかり調整済み。

■今後検討が必要な事項

1. 宇城の包括業務

包括が社協業務やボラセン業務に人員が割かれ、本来の包括業務に手が回らない状況。DWAT に包括の電話番を担ってくれないか打診あり（現地視察に来た国会議員からの提案）。

→体制と DWAT 本来業務に立ち返り一度本部で対応を検討

2. インマイライフ（小規模多機能ハウス）への職員派遣

職員が少ないため相談したい旨、JMAT から依頼。

→全社協の施設間応援派遣で対応を検討